2020/3/20 発行

九品仏地区 社協だより No.146

発行者：九品仏地区社会福祉協議会
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局
世田谷区奥沢 7-35-4
九品仏まちづくりセンター内
☎ 070-3946-9797
https//:www.setagayashakyo.or.jp

九品仏地区見守りネットワーク事業　2月13日(木) 九品仏まちづくりセンター活動フロア

約50名もが(1テーブル6～8名6グループ)集まって開催されました。
まず、横浜市戸塚区社会福祉協議会の伊藤学事務局長のお話。プライバシー重視の風潮で関わりを拒む方々がいることや、必要な情報が個人情報保護への過剰な反応で集まらないこと、また本当に手助けが必要な方がどこにいるのかわからないことを課題に挙げていらして、どこでも同じなのだと強く感じました。

その中で木原孝久さん（住民流福祉総合研究所）考案の「住民支え合いマップ」のお話がでました。約50世帯の「ご近所」圏での住民の交流を書き入れて、地域の実感や課題を浮かび上がらせる方法とのこと。具体的方法として心惹かれるものでした。

九品仏地区からの取り組み事例として防犯パトロールのための首から提げる名札の効果とその広がりについて、地域の福祉を考える楽多の会の「らくだサロン」がさりげなく情報交換していること、青少年九品仏地区委員会から、委員会行事を通して子どもたちが成長しても地域に関わり続けてくれている様子が見えること、安心すこやかセンターの見守りボランティアの事例など、この場だけでなく広く九品仏地区のみなさんに知ってもらいたい内容ばかりでした。

その後短い時間でしたが、テーブル毎に感想や日頃感じている課題について話し合う時間を持ちました。

今回は、日頃「見守り」に関して何か活躍しているキーパーソンの出席が多かったのですが、これを機会に、普段挨拶できる関係が広がること、お知り合いになっていくことが大事なのだと思いました。(R.K)

春の音コンサート2020　2/9成城ホールで開催

主催…世田谷高次脳機能障害連絡協議会

高次脳機能障害の当事者たちがメッセージを伝える場として2008年に始まり、今回は約50名のボランティアの協力を得て、九つの個人・グループが登壇しました。

Iさんは交通事故で一時は植物状態に、でも今は車イス。動く一本の指で打つトーキングエイドでコミュニケーションしています。画面に投影された彼の言葉から

”ありがとうの連鎖　広がるといいな世界へ”

また今回は失語症の方々の朗読・歌も多くありました。
意思疎通に困難を抱え、社会参加にも苦労されている方々の努力や気持ちが伝わってくるようでした。

コンサートも回を重ね、会場からのエールやリズムをとる拍手も盛り上がります。

楽しいですよ、生きているって素晴らしいことなんだって思わされます。次回はぜひご一緒しませんか。(M.S)

第52回立青式　2月8日(土)八幡中学校

日本古来の元服になぞらえて中学2年生（14歳）の前途を地域とともに祝うために開催していると聞いています。

2年生全員が自分の身の回りのことを中心に、考えを「意見文」にまとめてクラス発表をし、事前に代表者が決まります。当日は保護者・地域の方々だけでなく八幡・九品仏の小学校6年生も参加して代表者の発表や2年生全体合唱を聴かせてもらいます。最初から最後まで2年生の実行委員が中心になり静かに厳かに進行していきます。もちろん先生のご指導があってのことではありますが、校長先生の「上級生をお手本にして次の学年も頑張っている姿……」に、みんな同感！すがすがしさを感じる時間でした。(N.M)